

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1201049

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成25年度～幌内校長住宅新築工事 20,835千円
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町立学校校長・教頭住宅整備事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	建設戸数	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
事業目標	3戸	関係例規・法令名		
住民参加	2	関係個別計画名		
住民協働				

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	町内学校校長・教頭住宅新築工事 3戸					雄武中校長住宅新築工事20,835千円 雄武中教頭住宅新築工事19,435千円
計 画 事 業 費	事業費(千円)	40,270	0	0	0	40,270
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	40,270				40,270
実 績 事 業 費	事業費(千円)	39,739	0	0	0	39,739
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	39,739				39,739
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) 雄武中校長住宅新築工事 20,164千円 雄武中教頭住宅新築工事 19,575千円 ※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値				2戸
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99%
		全体達成率	0%	0%	0%	99%
		事業進捗状況				☆☆☆☆

事業名	町立学校校長・教頭住宅整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町立学校校長住宅、町立学校教頭住宅		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	建替戸数	
【抱える課題やニーズは】	各住宅とも年数の経過により老朽化が進んでいることから、修繕頻度が多く費用も嵩んでいるため、建て替えを要する時期となっている。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	老朽化住宅の整備を推進する。		① 建替戸数	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	良好な住環境の整備を推進する。			目標値	2戸
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	状況把握	学校管理職、工事担当課との現状確認により、緊急性や必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所及び工法について確認しています。	実績値	2戸	
	工事施工	住環境を改善するために各種工事を発注しています。	達成度	100.0%	
			②	目標年度	年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	老朽化住宅であり、修繕頻度が多く、修繕費用も嵩んでいるため、住環境を改善するための住宅整備を行うことは必要であると判断します。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		老朽化住宅の整備が推進され、良好な住環境を整備することができていると判断します。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		前年度調査に基づき、2年間での施工箇所の選定を行い、計画的に工事施工を予定しているため、事業費の抑制につながっていると判断します。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

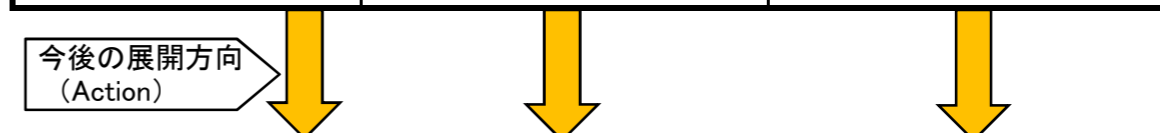
概ね公平	判断の理由		前年度調査に基づき、緊急性を考慮し施工箇所の優先順位を決定しており、未整備である教職員住宅の計画的な整備を行うため、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
建替工事を施工することにより、住環境整備の充実が推進されており、計画どおり事業が進んでいます。		



継続/現状維持		
経年劣化に伴う、学校長等の住宅整備を要する建物が他にも存在しているため、今後も計画通り事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止